

資料2 初島地区の津波対策（対応策の抽出（具体化）と優先順位づけ）

課題		担当	短期的対策（2～3年）	中期的対策（10年以内）	長期的対策	備考	
ハード対策	堤防整備（防潮堤）	・初島地区でレベル1津波を防ぐためには、T.P. +7.0mの防潮堤が必要	熱海市		・宮の前護岸開口部陸閘（浮上式）整備(H-1)		・レベル1津波による浸水被害を防ぐための護岸整備（かさ上げ）は実施しない。
	避難路	・避難路の整備	熱海市	・避難路改修・再整備(S-1-2) ・避難路改修・再整備(S-1-3) ・避難路改修(S-1-7)	・避難路の整備（階段）新設(S-1-1) ・避難路新設(S-1-4) ・避難路新設(S-1-5) ・避難路新設（林道の活用・延伸）(S-1-6)		
ソフト対策	避難路（標示）		・避難誘導看板の設置(S-2-1)	・避難方向路面標示(S-2-2) (モデル施工の結果による)		・平成28年度設置済み ・路面標示はモデル施工（熱海地区）により、視認性・耐久性等を確認したうえで、本格導入を検討	
	避難路（照明）	・ソーラー照明灯（フットライト）	熱海市	・街灯の新設及びLED化に対する補助(S-3-1)	・避難経路にソーラー式フットライト設置（初島公園まで）(S-3-2)		
	自宅等建築物の対策	・家の耐震性	熱海市	・無料耐震診断（昭和56年5月以前建築の木造住宅） ・耐震補強費用の補助			・「TOUKAI-0」による支援
	情報連絡（事前準備）	・避難計画	熱海市	・津波避難計画作成			・平成28年度作成済み
		・津波浸水区域・津波避難ビル等の周知	熱海市	・防災ガイドブック（ハザードマップ）全戸配布			・平成28年3月配布済み ・随時更新
		・災害弱者対策	熱海市	・避難行動要支援者避難支援計画（個別計画）の作成			・市・自主防・民生委員等
	情報連絡（発災後）	・情報伝達手段の整備	熱海市	・Jアラート（全国瞬時警報システム）の活用 ・Jアラート緊急割込み放送システム（FM熱海湯河原）の導入 ・緊急速報メール（エリアメール）による情報配信 ・その他情報発信（メールマガジン、ケーブルテレビ、FMラジオ）	・同報無線のデジタル化		
		・安否確認手段の整備	民間	・「災害用伝言ダイヤル171」の活用 ・家族間・近所であらかじめ取り決め			・活用方法等の周知（熱海市）
その他	・食料、資機材等の確保	熱海市	・拠点防災倉庫の新設(S-4) (食料・資機材等の整備)			・平成28年度整備済み	
	・消防団（第9分団）の浸水区域外への移転	熱海市	・第9分団の高台移転新築(S-5) (一時避難場所兼用)			・平成29年度末に、L2津波浸水想定区域外へ移転予定	